令和5年9月作成
北海道農政事務所生産経営産業部事業支援課

フードバンク富良野（富良野市）

保存されている食品

作業中のスタッフの様子

【組織の概要】

- 団体名：フードバンク富良野
- 所在地：富良野市若松町
- 代表者：二宮　利和
- 活動人数：９名
- 活動開始時期：2021年
- 北海道フードバンクネットワーク加盟
- 取扱品：加工食品（常温、冷凍、チルド）、米、野菜、果物、菓子、飲料、日用品　他
- 提供の条件：食品は未開封、賞味期限１週間前

◇【団体発足の経緯】

◆ 代表の二宮さんは様々な事業を行う中で、地域にとって福祉関連の事業の必要性を実感した。
合同会社を設立し事業を行う中で、社会的にも関心が高まっており、自身も必要性を感じた障害者の居場所づくりと生活困窮者支援の両方ができるフードバンクの活動も開始した。

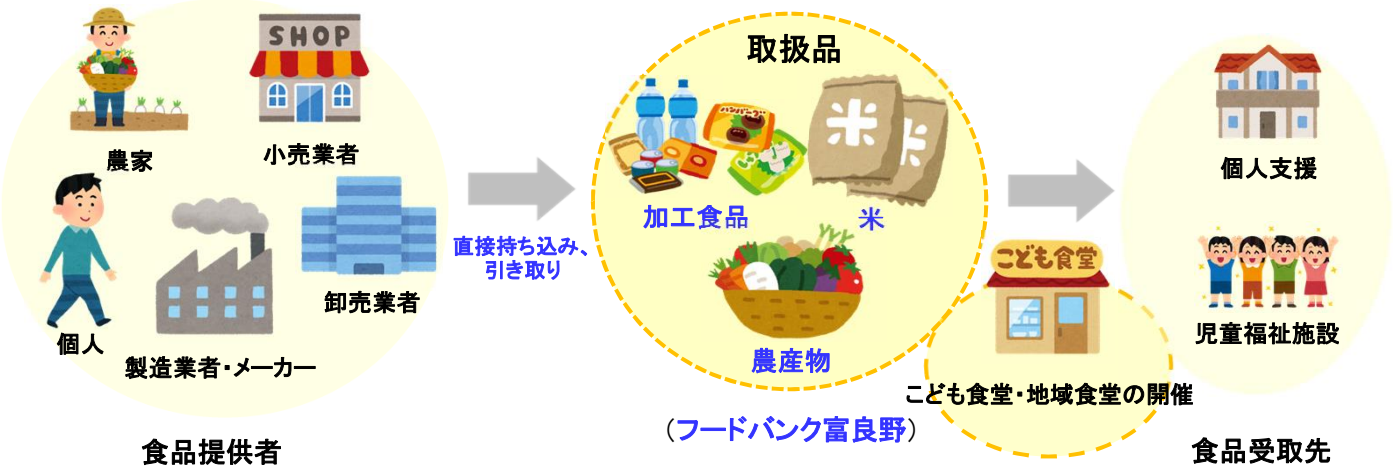
◇【活動の概要】

◆ 食品は支援が必要な人に取りに来てもらったり、移動が困難な人には届けたりとケースバイケースで対応している。
◆ 野菜は加工や調理を行って真空パックに詰め、長期保存ができるように工夫している。
◆ 社会福祉協議会と協力体制を築いており、食料支援は生活困窮者支援のツールという考え方で行っている。
◆ フードバンクの作業（集荷、配布、加工調理等）を同法人内の就労支援事業所に委託する仕組みを構築している。

【取組む際に生じた課題と対応方法】

◆ フードバンクの活動については運営費が不足しており、就労支援の事業と組合せて運営費を賄っている。
◆ 利用者、協力者へ必要な情報を発信する方法が限られている。他の支援とも組合せて情報提供を行っていきたい。
◆ 提供される食品は地域柄農産物が圧倒的に多く、子ども食堂で食材として利用するほか、北海道フードバンクネットワークのほかの団体へ配送して提供したりもしている。また、レトルトなど加工食品の提供は少ないため、他の団体から提供してもらうこともある。

フードバンク富良野の食品取扱いのフロー図



【今後の展望】

◆ フードバンクについて、何らかの制度として確立されることを望む。
◆ 団体が行っている活動は社会にとって必要だと思っている。今後は地域にもっと根差したものとなるよう維持、周知を行っていく。